

北海道当別町における基本計画の概要

計画のポイント

当別町は、農業が基幹産業であり、農業産出額は約52億円（平成27年）となっている。主要作物は米や栽培面積道内8位の小麦、収量道内10位のアスパラなど、20種類以上に及ぶ多品目を生産していることが特徴であり、ユリ等の花卉の栽培面積も道内2位と有数の産地となっている。また、こうした特産物の加工品等を生産する食料品製造業は、町製造業全体の付加価値額の40%を占める基幹製造業となっている。このほか、金属製品製造業が集積しており、付加価値額も町製造業全体の60%を占める。また、森林が町面積の約60%を占めることや、当別町の最大積雪深が1.5mになる特性を生かし、様々な再生可能エネルギーの有効活用 of 取組も進んでいる。

こうした地域特性を生かした事業を推進し、企業の稼ぐ力を高めることで付加価値を向上させ、収益の増加・雇用の増加といった経済の好循環を創出することを目指す。

促進区域

北海道当別町

経済的効果の目標

- ・ 1件あたり平均40百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出。
- ・ これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.5倍の波及効果を与え、促進区域で**約240百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～④のいずれか）】

- ①当別町のお米・小麦・アスパラ等の特産物を活用した**農林水産・地域商社分野**
- ②当別町のお米・小麦・アスパラ等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**
- ③当別町の金属製品製造業の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ④当別町の豊富な森林等の自然環境を活用した**環境・エネルギー分野**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・ 付加価値増加分：3,920万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①売上：2%以上増加 ②雇用者数：1.2%以上増加

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

- ・ 当別町商工会
- ・ 北石狩農業協同組合
- ・ (株)北海道銀行 ・ (株)北洋銀行 ・ 札幌信用金庫
- ・ 北海道医療大学
- ・ 北海道ドローン協会

計画期間

計画同意の日から令和5年度末日、又は、新基本方針に基づいて、令和5年度末日までに改めて新基本計画を作成する場合は、当該新基本計画の同意日の前日のいずれか早い日まで

制度・事業環境の整備

- ・ 不動産取得税・固定資産税の減免措置 ・ 情報処理の促進のための環境の整備
- ・ 外需獲得商材開発やIT導入など卸売・小売分野に対する支援
- ・ 事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・ 既存土地利用関係の計画と調和した新たな土地利用の見直し